

I 第26週の発生動向 (2015/6/22~6/28)

1. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で第21週から**警報**が継続しています。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が157人から128人に減少しました。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、97人から84人に減少しました。
4. 手足口病については、98人から119人に増加しました。
5. インフルエンザの患者報告数は1人で、迅速診断キットによる型別はA型でした。

II 第26週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点			
小児科 内科																	
インフルエンザ			1	0.07									1	0.02	0		
小児科	RSウイルス感染症					5	0.50			1	0.17			6	0.14	-1	
	咽頭結膜熱	2	0.25	3	0.33	1	0.10					1	0.25	7	0.17	-11	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.63	17	1.89	40	4.00	1	0.20	10	1.67	3	0.75	84	2.00	-13	
	感染性胃腸炎	36	4.50	13	1.44	30	3.00	12	2.40	21	3.50	16	4.00	128	3.05	-29	
	水痘	3	0.38	3	0.33	4	0.40			2	0.33			12	0.29	-15	
	手足口病	27	3.38	29	3.22	45	4.50			18	3.00			119	2.83	21	
	伝染性紅斑	1	0.13	2	0.22	10	1.00			14	2.33	3	0.75	30	0.71	-11	
	突発性発しん	3	0.38	9	1.00	11	1.10			2	0.33			25	0.60	8	
	百日咳																0
	ヘルパンギーナ					1	0.10			2	0.33			3	0.07	-1	
流行性耳下腺炎	1	0.13							1	0.17			2	0.05	-1		
眼科																	
急性出血性結膜炎																0	
流行性角結膜炎	4	2.00			4	2.00	2	2.00					10	0.91	2		
基幹																	
クラミジア肺炎																0	
細菌性髄膜炎																0	
マイコプラズマ肺炎												5	5.00	5	0.83	4	
無菌性髄膜炎																-1	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																-3	

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):青森市+東地方2人、上十三2人(2015年計:153人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):青森市+東地方1人(2015年計:11人)

IV 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・上気道炎患者(鼻汁、5/17~5/20)・・・ヒトライノウイルスA:八戸(2)
- ・下気道炎患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、5/11~5/25)・・・パラインフルエンザウイルス1型:八戸(1)、ヒトライノウイルスA:八戸(2)、ヒトライノウイルスA及びRSウイルスB:八戸(1)、ヒトライノウイルスC:八戸(1)、RSウイルスA及びアデノウイルス2型:八戸(2)

感染症の窓

ヘルパンギーナ (五類定点把握疾患)

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎です。1歳~4歳位までの乳幼児を中心に初夏から秋にかけて流行する、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。病原ウイルスは主にコクサッキーウイルスA群ですが、コクサッキーウイルスB群やエコーウイルスで発症する場合があります。

感染後2日~4日の潜伏期を経て、突然、38℃~40℃の発熱が1日~3日続き、全身倦怠感、食欲不振、咽頭痛、嘔吐などを発症します。咽頭所見は、軽度に発赤し、口蓋(口腔の上部)から口蓋帆(のどちんこの上周辺)にかけて1mm~5mmの小水疱、これから生じた小潰瘍などが数個認められます。

一般的に予後は良好で、2日~3日で回復します。

全国的には流行のピークは7月頃ですが、国内での流行は西から東へと推移するため、青森県の過去3年間の定点当たり報告数では第32週~第35週の8月頃にピークが見られました(右図)。

なお、今年の第26週の定点当たり報告数は0.07人/定点ですが、今後の発生動向に注意が必要です。

感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染であるため、予防対策は、感染者との密接な接触を避けること、流行時にうがいや手指の消毒を励行すること、またおむつ交換など便を扱った後は手洗いをきちんとすることなどです。 【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

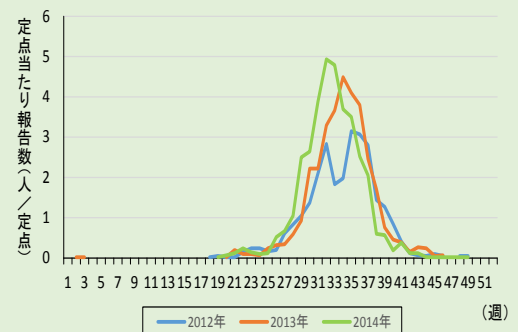


図:県内の定点当たり報告数の推移(2012年~2014年)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第16週～2015年第26週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	H27.4.13 ~ H27.4.19			アメーバ赤痢1人			
17	H27.4.20 ~ H27.4.26	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人				侵襲性肺炎球菌感染症1人	
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		つつが虫病1人				
19	H27.5.4 ~ H27.5.10			侵襲性肺炎球菌感染症1人			
20	H27.5.11 ~ H27.5.17			侵襲性肺炎球菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人			
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	つつが虫病1人 梅毒1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人	急性脳炎1人		つつが虫病1人 梅毒1人	
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	つつが虫病1人 ウイルス性肝炎1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人
25	H27.6.15 ~ H27.6.21		腸管出血性大腸菌感染症3人	侵襲性肺炎球菌感染症1人			細菌性赤痢1人
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	腸管出血性大腸菌感染症1人					

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第16週～2015年第26週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	H27.4.13 ~ H27.4.19		1		1		
17	H27.4.20 ~ H27.4.26	3	1			1	
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		2	2			
19	H27.5.4 ~ H27.5.10		1	1		1	
20	H27.5.11 ~ H27.5.17	4		1		1	2
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	1	1	1		3	
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		1	3	1		1
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	2	1	4		1	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	3	1	1			
25	H27.6.15 ~ H27.6.21	2		1			
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	2				2	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第24週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	野兔病	ライム病	レジオネラ症
累積報告数	10592	3	63	646	21	19	85	133	8	4	1	24	7	64	107	48	3	13	1	3	506
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	種痘性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アンネクトバクター感染症
累積報告数	6	477	106	565	244	8	77	220	617	35	120	18	1298	136	948	57	44	23	86	22	16

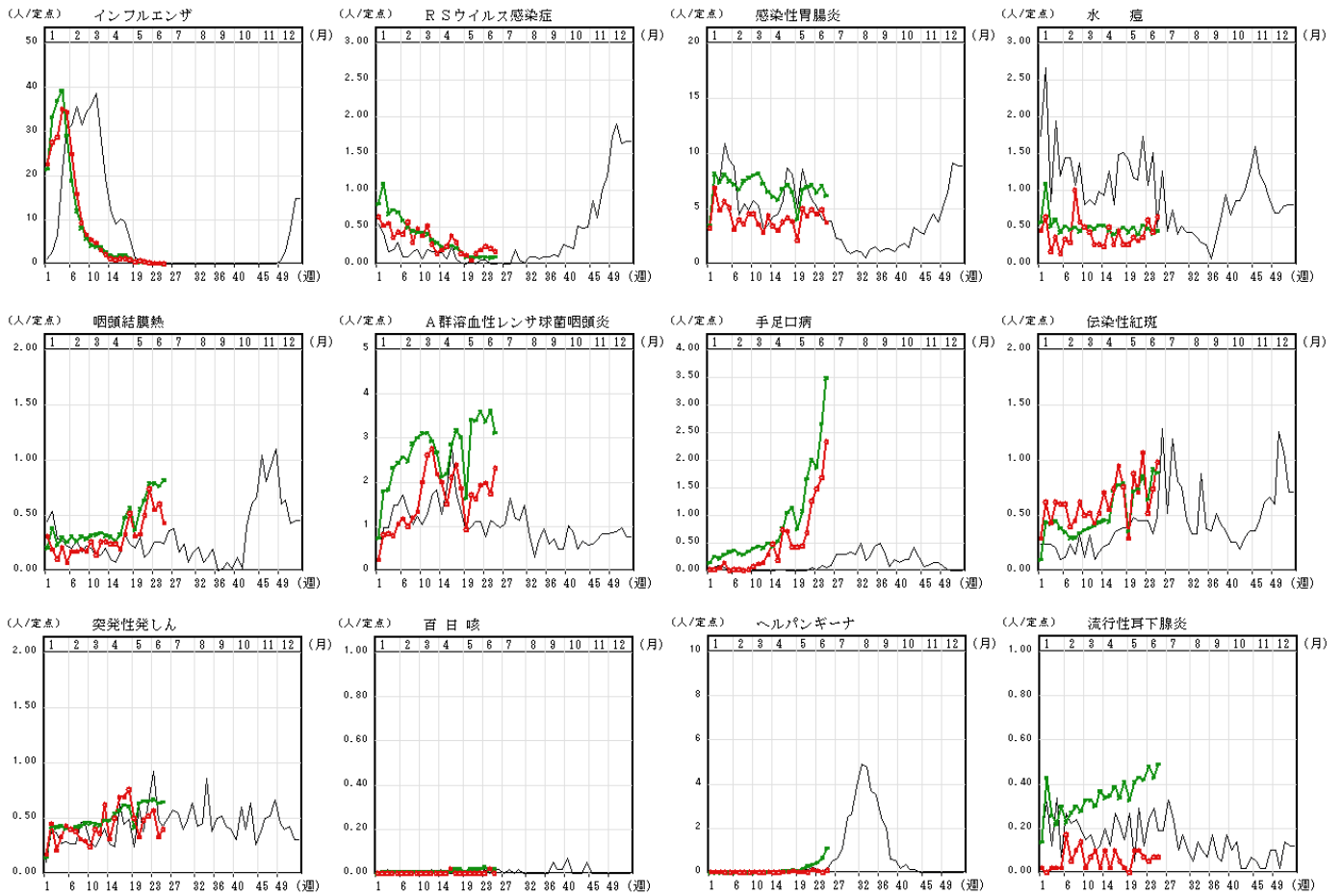
青森県

(2015年第1週～第26週累計)

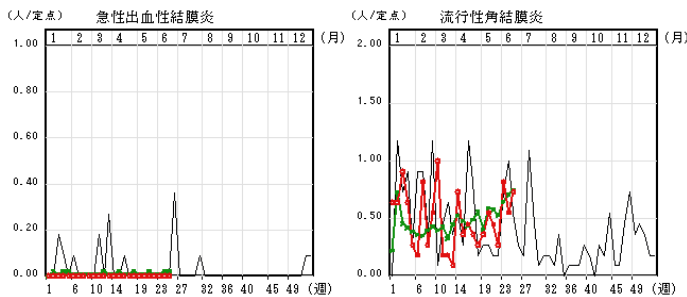
分類	二類	三類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	
累積報告数	153	11	1	8	5	1	7	1	1	2	2	10	2	3	

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第25週)

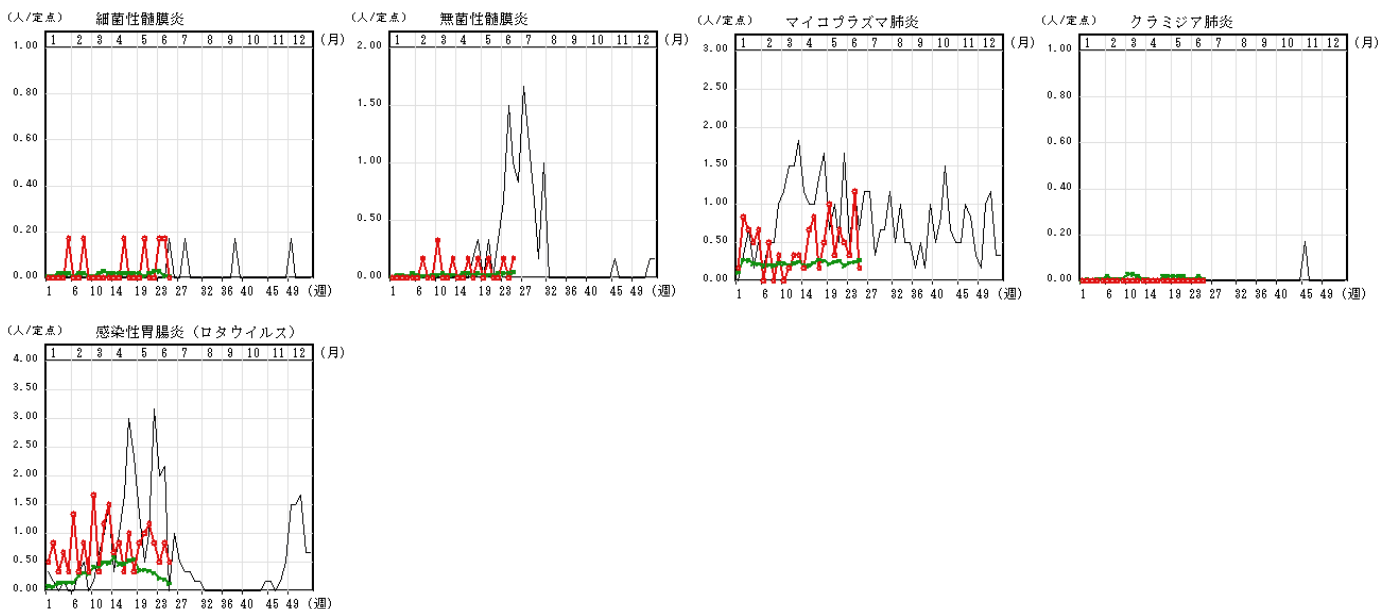
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第25週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第25週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第26週は報告はありませんでした。

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23週	24週	25週	26週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	0	0	0	6
	発症者数	61	0	5	19	0	14	0	0	0	99
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	0	0	16	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	1	0	1	0	23
	発症者数	168	94	62	19	27	14	0	16	0	400